

平成20年度 多摩区協働推進事業 実施結果

I 安全で快適に暮らすまちづくり事業費 予算額 4,139,000円 決算額 2,836,575円

事業名【担当課】	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
1-1 安全・安心まちづくり推進事業 【地域振興課】	<p>区民・地域、警察、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等に取り組む推進体制を整備し、安全・安心に関する情報の提供、のぼり旗、パトロール用ベスト等の提供、路面表示の維持管理等を通じて、安全・安心な地域生活環境づくりを推進することを目的としている。</p> <p>■事業対象：町内会・自治会、老人会、防犯協会、安全協会等 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>1 多摩区安全・安心まちづくり推進協議会ホームページの更新(年3回) 2 パトロール用ベストの貸与、のぼり旗の貸与(通年) 3 必要箇所への路面表示や看板の設置と活用による地域環境の改善(通年) 4 振り込め詐欺防止の啓発活動(3回、チラシは通年配架する。) 5 登戸駅、向ヶ丘遊園駅での飲酒運転防止キャンペーン(各1回) 6 登戸駅、向ヶ丘遊園駅、生田駅での放置自転車・違法駐車対策キャンペーン(各1回)</p> <p>委託先 多摩区安全・安心まちづくり推進協議会</p>	<p>近年、安全・安心まちづくりは重要度が増してきており、今後はさらに社会的な関心が高まっていく事業である。区としても、各種関係機関・団体と積極的な連携を図り、パトロール等の取組みの強化と効果的な支援のあり方を検討していく必要がある。</p>	<p>予算額：2,103,000円 決算額：933,219円</p>
1-2 市民防災活動支援事業 【地域振興課】	<p>地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織の育成と地域住民の防災意識の向上に努め、防災に関する実践的な講座や市民救急員養成講座のほか、防災フェアや避難所運営会議の充実等を通じて、地域の防災力を強化することを目的とする。</p> <p>1 市民救急員養成講座開催事業 2 避難所物品補助事業 3 防災フェア開催事業</p> <p>■事業対象：市民 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>1 救急員養成講座 11月18日(火)、21日(金)、25日(火)の3日(年1回) 検定修了者23人 2 避難所運営会議 通年(45回(18避難所)) 3 多摩区防災フェア 12月10日(水)、11日(木)の2日間 参加人数880人 4 防災訓練の実施(各自主防災組織主催 28回/50組織 延べ3,958人参加)</p> <p>委託先 多摩区自主防災組織連絡協議会</p>	<p>防災に対する市民の関心が高いことが改めて感じられた。これを一部の人だけではなく、一人でも多くの市民に意識と知識を持ってもらえるよう自主防災組織を中心に関係団体と積極的な連携を図りながら、地域の防災力を強化する取り組みを検討していく必要がある。</p>	<p>予算額：2,036,000円 決算額：1,903,356円</p>

Ⅱ 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり事業費

予算額 840,000円

決算額 694,753円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>2-1 パサージュ・たま(旧ふれあいデー)事業</p> <p>【地域保健福祉課】</p>	<p>多摩区内の障害団体及び生活支援や就労支援を行っている障害者施設や作業所等の普及啓発活動(活動紹介、作品の展示販売、作業実演、相談等)を通じて、多くの区民に障害福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障害者が地域社会とのつながりを持つことを目的として、月1回程度、区役所総合庁舎アトリウムを利用して開催する。</p> <p>市政日より、ホームページ、町会回覧、施設・作業所での配布等により広報を行う。</p> <p>■事業対象：区民及び区内在勤・在学者等 ■実施主体：多摩区地域保健福祉課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○ 『パサージュ・たま』の開催 平成20年5月より、名称を『パサージュ・たま』として開催し、8月を除く年11回、10時～14時に開催。延べ78団体が参加。平成20年9月13日には「第1回川崎市障害者雇用促進シンポジウム」と同日開催し、市内外の方に対して、広く普及啓発を行うこともできた。</p> <p>○ 『パサージュ・たま』運営委員会の開催 障害者と関わる16団体で構成し、年9回開催。開催日や普及啓発の方法等について検討した。</p> <p>○ 広報の実施 市政日より及びホームページには適宜掲載し、町内会・自治会等回覧を4回実施。 また、3月17日の『パサージュ・たま』において、各団体の活動を掲載した広報紙を発行した。</p>	<p>当事者からは「多くの方とふれあえて楽しい」「毎回参加するという目標ができた」「自分の作品を手にとってもらえるとやりがいにつながる」という声が多く、来庁者からは「実際の作業を見て驚いた」「多くの活動場所の存在を知った」との声があった。また作業所等からは「予想以上に収益につながった時もあり、活動意欲につながっている」「多くの人との交流や社会との接点が増えることは、対人関係の訓練にもなる」「相談に来られた方にいろいろ紹介できて良かった」等の評価もあり、普及啓発としての成果は大きいと感じる</p>	<p>予算額：200,000円 決算額：199,963円</p>
<p>2-2 健康づくり推進会議事業</p> <p>【地域保健福祉課】</p>	<p>「かわさき健康づくり21」計画を基本に、健康づくり普及推進事業、特に食を通じた健康づくりの推進を行う。</p> <p>①セミナー・講演会開催(年4回) ②セミナー・講演会開催に伴う町会等回覧用チラシの作成</p> <p>■事業対象：区民及び区内在勤・在学者等 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>1 平成20年9月21日(日)『楽しく食べて健康に!』 52名参加 多摩区民健康フェアにて 講師 佐伯 知美(管理栄養士) 内容 区民に対して、『食』と『健康』のつながりを感じてもらうことを目的として開催。食材から消化のメカニズムまでを目に見える形で表現していただいた。</p> <p>2 平成20年10月21日(火)『地域ですすめる食育』 33名参加 講師 三津間 通(ライフサポート三津間 管理栄養士) 内容 区民及び食に関する活動実践者を対象に、講師が取組んでこられた活動について講演していただいた。講演会后、参加者の感じている課題や取組状況を話し合う機会を持った。</p> <p>3 平成20年11月21日(金)『バランスよく食べて健康家族』 80名参加 多摩区いきがいフェスティバル2008にて 講師 木島 康(管理栄養士) 内容 食事バランスガイドに基づき、バランスよく食べる方法やポイントを、フードモデルを用いて、全年代にわかりやすく伝えた。</p> <p>4 平成21年3月2日(月)『元気を育てる正しい食事～食の安心と健康を考える～』71名参加(保育11名) 講師 中村 丁次(神奈川県保健福祉大学保健福祉学部長) 内容 人はなぜ食事をするのか。栄養の大切さや選択の仕方など、これまでの研究や研究データを基に講演していただいた。著名な講師でもあり、わかりやすかったと好評であった。</p>	<p>講演会の開催により、多くの区民に対しての普及啓発を実施できた。中でも3月2日の講演会には男性聴講者や学校からの紹介を受けて参加された方、乳幼児を連れての参加も多く、幅広い年代の方に興味を持っていただけた。</p>	<p>予算額：640,000円 決算額：494,790円</p>

Ⅲ 人を育て心を育むまちづくり事業費

予算額 14,363,000円

決算額 14,015,938円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>3-1 親と子の集いの場づくり事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>子育ての早い時期から育児不安の相談や近隣の仲間づくり等を身近な場で支援し、育児不安やストレスを軽減するとともに、地域で実施している子育て支援等を紹介しネットワークへつなげていく機会とする。</p> <p>①「ママと遊ぼうパパもね」事業 区内4ヶ所(3地区)を会場に公立保育園・主任児童委員・子育て支援センターにししゅくがわらとの協働により、子育てのフリースペースを開催し親子のふれあい・交流・育児相談の場を提供する。</p> <p>②子育て安全マット・玩具貸し出し事業 区内の子育てグループ等の活動支援のため、安全マットや玩具を貸し出しこどもの遊びや保育活動の利用に供する。</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と親 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>①20年5月～7月・10月～21年3月 3地区4会場等で31回実施。参加927組1827人参加</p> <p>登戸地区(すかいきつず)、生田地区(生田道院)、菅中野島地区(中野島会館・中野島こども文化センター)にて実施。親子のふれあいと歌や手遊び、体操、お誕生会等の催しの実施や育児相談に応じた。</p> <p>9月「たまたま子育てまつり」にも参加し、699人の親子が参加。2月～3月は各地区ごとにミニコンサートやお楽しみ会を開催した。</p> <p>「子育てワンポイントアドバイス」等多摩区の子育て情報提供を随時発信。</p> <p>②安全マットや玩具の貸し出しを行い、地域子育て支援事業への環境を整備した。</p>	<p>地域の子育て支援者との協働体制を構築したほか、子育て拠点に係わる環境を整備した事により、親子のふれあい・交流・相談支援の場が充実した。</p>	<p>予算額：660,000円 決算額：618,899円</p>
<p>3-2 家庭で保育する親等の支援事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>①こども支援啓発研修・講演会 地域住民や子育て支援機関・団体及び子育て中の親を対象に、こども・子育てに係る課題について専門分野の講師を招いた講演会等を開催し、理解を深めるとともに子育て支援の一助とする。</p> <p>②保育の寺子屋事業 家庭で育児している親子を対象に、親には育児・しつけ・家庭教育・父親参加等についての学習及び仲間づくりと交流の場、こどもには遊びと集団保育を経験する機会として連続講座の形で事業を実施することで子育て家庭を支援するとともに、地域子育て資源の活用及び支援ネットワークへつなげる機会とする。</p> <p>③子育て支援パスポート事業 区商店街連合会との協働により、子育てを通じた地域コミュニティの活性化や見守り体制を強化するとともに、子育て家庭の経済的支援と地元商店街の振興を図る。妊婦から18歳までの子育て家庭に発行し、協賛店でパスポートを提示すると割引など特典を受けることができる。</p> <p>④子育て支援アドバイザー事業 「親育て・子育て支援者養成講座」 地域の子育て支援者を養成し地域の支援体制強化を図るとともに、区民が地域活動を始めるための機会提供の一つとするため、また、育児不安や虐待予防に対応するため親自身の養育力を養う機会の一つとして、集中講座を実施する。(保育付き)</p> <p>■事業対象：区内の家庭で保育している親子 ■実施主体：区役所 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>①こども支援啓発研修 研修・講演会3回開催。7/24「昔話からのメッセージ」120名参加、10/30「児童虐待防止における幼稚園保育園の役割・地域との連携」70名参加、12/14「まどみちおの世界からのメッセージ」85名参加</p> <p>②保育の寺子屋事業 委託先：特定非営利活動法人ままとんきつず 4月26日～3月21日の土曜日午前中に2コース計40回開催。140組の親子が参加した。親子遊び、親講座、季節の行事など実施。親子の学習、交流の場となった。</p> <p>③子育て支援パスポート事業 委託先：多摩区商店街連合会 20年度新規発行数1,900世帯(トータル4,029世帯)、新規協賛店増加26店(トータル137店) 広報：市政だより掲載やケーブルTVの放映、子育てまつりの抽選会を実施。区内の幼稚園保育園小学校の保護者にチラシ配布。発行場所追加：登戸行政サービスコーナー</p> <p>④子育て支援アドバイザー事業「子育て支援者養成講座」委託先：特定非営利活動法人ままとんきつず 6月5日～10月30日木曜日午前中に保育基礎講座、支援者養成講座、実習を含め20回開催。参加者42名、修了基準を満たした受講者38名に修了証を発行。</p>	<p>①こども支援啓発研修・講演会 地域住民や子育て支援機関・団体及び子育て中の親等の対象者別に、専門分野の講師を招き理解を深められた。参加人数の大幅な増加及びアンケートでも参加者の良い評価が得られた。</p> <p>②保育の寺子屋事業 参加希望の増加に対応するため、昨年度より1コース増やし2コースでの実施とした。父親の参加率も増え、家庭内の役割意識が高まり育児不安や虐待防止の対策の一助にもなった。体験の広がりや学習だけでなく親同志や地域との交流も深まった。</p> <p>③子育て支援パスポート事業 19年9月から開始し13商店会137店舗が協賛店として登録。4,029世帯にパスポートを発行した。就園就学家庭への広がりもあり、地域啓発の催し(抽選会等)やメディアでの紹介を通して地元商店への関心も高まりを見せている。</p> <p>④子育て支援アドバイザー事業「親育て・子育て支援者養成講座」 38人に修了証発行し半数の人が支援活動に携わっている。自主グループも結成され支援をおこなった。修了者が当初予想を上回り、アンケートでも学習の積み重ねが親の育児力を高め支援者としてもステップアップをはかることができた等の意見があり、成果があったと判断する。</p>	<p>予算額：4,898,000円 決算額：4,871,205円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-3 こども総合支援連携事業 【こども支援室】	①幼・保・小連携事業 区内の公私立幼稚園、保育園、小学校の連携を図り、一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、情報交換や保育体験等を実施し就学に向けて支援体制づくりを進める。 ②多摩区こども総合支援連携会議 区内のこども支援に係る市民活動団体・グループとこども関連施策実施機関(25団体)との協議の場を設け、子育て支援のネットワークを形成し、相互に連携調整機能の強化を図る。 ■事業対象：①区内の公私立幼稚園・保育園・小学校 ②区内のこどもに係る機関・団体・グループ ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	①幼・保・小連携事業 5～7月授業参観、行事参観と意見交換・7～8月教職員保育体験・9/1代表者準備会・11/13幼保小代表者連絡会・12/18幼保小担当者実務会議・3/4代表者会議・「もうすぐ1年生」配布 ②多摩区こども総合支援連携会議 6月、11月、2月の3回開催。各団体の地域での活動情報の交換や行政側の情報提供、課題解決へ向けての検討、地域の子育て支援に係る基本方針策定の提案を行った。	①年長児のスムーズな就学へ向けた情報交換や日常的な連携を計画的に実施し、幼保小連携の重要性について共通理解を図ることができた。 ②こども総合支援連携会議 地域のこども支援関連25団体の代表と区役所内関係者により3回開催。情報交換やグループ別に地域課題の発表・提案を行い、区としてこども支援の課題及び各団体の取組と役割について相互に認識と理解を深めるとともに、地域各機関や団体、行政のそれぞれの現場からの随時の情報提供や課題解決の提案を行い会議を活用した連携につながった。	予算額：129,000円 決算額：102,080円
3-4 こども総合支援に係る広報事業 【こども支援室】	区内の子育て情報を収集・提供することで育児不安の軽減を図るとともに、子育て支援団体・機関等との情報面における連携や子育て分野での地域コミュニティの活性化を図る。 (1)ホームページによる子育て情報発信事業 子育てカレンダー事業は、主に乳幼児期の親子が気軽に参加できる公開の広場型の催しを中心に、カレンダー方式で地域情報をリアルタイムに発信する。 (2)地域子育て情報の収集・広報及び交流支援事業 区内親子へ子育て支援情報提供を行う。子育て支援団体に対しては、各団体や催しの案内について掲示・配布、印刷等の広報支援を行っていく。 (3)子育て情報冊子の発行事業 子育て情報について紙ベースで提供することで、地域情報の入手機会の拡充を行う。 ■事業対象：区内の妊婦～子どもを持つ家庭 ■実施主体：区役所 ■事業形態：一部委託、当初予定事業、緊急対応事業 ■開始時期：平成17年度	(1) ホームページによる子育て情報発信事業【当初予定事業】 委託先：特定非営利活動法人 ままとんきっず 子育てカレンダー事業：年間を通し、隔月で情報提供を行った。 (2) 地域子育て情報の収集・広報及び交流支援事業【当初予定事業】 「多摩区こども支援室のご案内」(A4両面カラー)を作成し区内小学校及び保育園・幼稚園(認可外等も含む)の全家庭に配布し、業務案内及び相談窓口の紹介について広報を行った。子育て団体等の広報について、掲示板やチラシ棚での広報協力を行った。 (3) 多摩区子育てBOOK(2008)の発行【緊急対応事業】 H20年12月 11,000部発行し(A4 54頁)、母子手帳交付者・転入者・希望者に配布中。	子育て家庭の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へつなげるための機会提供を行え、また事業を通して地域子育て支援の協力も深めることができた。 内容と提供方法について、分かりやすさや入手しやすさ等の観点から随時見直し創意工夫を重ねながら実施していく必要がある。	【当初予定事業】 予算額：521,000円 決算額：508,412円 【緊急対応事業】 予算額：1,218,000円 決算額：1,217,500円
3-5 たまたま子育てまつり 【生涯学習支援課】	多摩区内の子育て支援団体や市民グループと関係行政機関との協働により、子育てに関する情報交換と様々な交流事業を行うことにより、安心して子育てができる地域づくりと地域における子育てネットワークの充実を目指す。 毎回テーマを設け、子育て関連情報の提供、子育てに役立つ知識や技術の普及、リフレッシュして子育てを楽しくできるようになるための支援、子どもたちが楽しく参加できる企画を実施している。 ■事業対象：子育て中の区民及び子育てに関心のある区民 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	第6回たまたま子育てまつりの開催(負担先：たまたま子育てまつり実行委員会) ・日 程：平成20年9月21日(日) ・会 場：多摩区総合庁舎 ・テ ー マ：0から100才☆みんな笑顔 ・内 容：情報ひろば、子育てサークルの活動紹介、子育て心理相談、AEDを使用した乳児・小児・大人の救急講習会、お父さんと子どものたまりバー、うきうきわくわくエンターテイメントショー、ダンボール基地で遊ぼう!、かえっこバザール、スタンプラリーなど ・参加者数：約4,800人	多摩区内の子育て支援団体や市民グループと関係行政機関との協働により、まつりの企画・運営を行うことで、子育てを地域全体で支えていくという環境づくりに大きく寄与している。商店街も巻き込み、子育て当事者や若い世代の参画にも努めており、今後のさらなる事業展開に期待が持てる。	予算額：593,000円 決算額：593,000円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-6 幼児の発達支援事業 【保健福祉サービス課】	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉が遅い」「多動で落ち着きがない」「友だちと遊べない」など、児の療育に困難さや、心配を感じている乳幼児の親を対象に、一緒に集団遊びを行いながら、児の発達の見極め、親の気楽な相談の場・児の成長の場を提供し、専門家による適切な助言・母親同士の交流・発達障害を持つ児の専門機関への繋ぎ、等により、育児不安を軽減し、こどもと親の育児支援を行う。 また、育児不安や、知識や情報の少なさは、時に親子関係を悪化させ児童虐待に移行する危険性があるため、個々の問題をみんなで共有し、支え合う体制づくりを行う。 児の発達に不安を感じている親が気楽に参加できるように1回の人枠を決めずに月1回づつ、1歳半～2歳児、2歳～3歳児を対象に「遊びの会」を実施。心理職・言語聴覚士・体育指導員なども加え、より専門的な視点で適切な見極めを行い、支援の早期対応を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：児の療育に困難さや心配を抱えている親子 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度 	<ul style="list-style-type: none"> 「プーさんキッズ」(1歳半～2歳児対象) 月1回 12回実施 449人参加 「たま遊びの会」(2歳～3歳児対象) 月1回 12回実施 241人参加 <p>各発達段階・年齢などを考慮した「集団遊び」「親同士の交流」を目的としたグループワークなどを通して、それぞれの専門家を含めての発達の見極め、適切な助言、専門機関への繋ぎなどを行った。</p> <p>ハイリスクの児にとっても、より専門的スタッフにより運営されるため、「幼児相談」の待機者のフォローにもなった。</p>	<p>発達障害などが近年話題にもなり、育児に不安を感じている親は多くいる。気楽に相談に乗ってもらえる、また、集団遊びを通して、他の児の様子などに触れる機会を持ち、育児不安の軽減や、親育ちの機会にもなっている。</p>	予算額：1,153,000円 決算額：1,142,372円
3-7 生きがいと楽しさを持つ子育て交流支援事業 【保健福祉サービス課】	<ul style="list-style-type: none"> 親子が安心して健康診断や予防接種が受けられる環境の整備をする。 孤立した育児環境の中で子育てにストレスを感じている親子が多いため、センター内外で、気軽に集まれる交流の場(サロン)を設け、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験する。 <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区内の子育て中の親子 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度 	<ul style="list-style-type: none"> 産後・3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児の健診(月各3回×12月)、BCG、ポリオなどの予防接種時の親子のサポート体制の整備。 地域ママズサロン：月1回センター内外で楽しい親子の交流を目的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 健診・予防接種は短時間に多くの児を診る業務であり、親子が安心して安全に受診するためには、環境整備はとて大切である。 サロンでの子育て支援の取り組みにより、子育ての楽しさを体感し、前向きに明るく、楽しく子育てをしていく支援を行っている。 	予算額：1,430,000円 決算額：1,276,612円
3-8 スキンシップコーナー事業 【保健福祉サービス課】	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを楽しみながら、健康で安定した親子関係を築けるようにスキンシップの必要性と具体的な方法を学ぶ。 また、育児に負担を抱えている親、子育て不安を感じている親に助言・指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：3ヶ月児健診に来所する親子 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月3回×12月 実施 多摩区に居住する生後3・4ヶ月児の健診に来庁した親子に対し、健診終了後に自由参加の形で「スキンシップコーナー」を開催、肌のふれあい遊び、親子で見つめあいながらのコミュニケーションのとり方などを学ぶ機会とした。参加した親子にはたいへん好評であった。 子育て不安に対する相談については、心理相談員による相談・助言・指導を行える体制を整備して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て初期に「スキンシップコーナー」を用意し、子育ての楽しさの体験や、育児不安の早期解消が行われることは大変有意義である。 時間帯が健診後ということで、参加できる親子が限られたり、児が疲れて寝てしまったり、相談についても、時間帯が健診後ということで親子ともに疲れてしまうという姿も見られ、次年度の課題となった。その結果、この事業については、心理職の活用が十分にされていない、ふれあい遊びなどについては既存の他事業にて取り入れていくこととし、次年度は実施しないこととした。 	予算額：760,000円 決算額：756,394円
3-9 こどもの外遊び事業 ※区民会議関係 【こども支援室】 (企画課)	<p>第1期多摩区区民会議の審議結果を受けて、生活環境や家族のあり方、ライフスタイルの変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化していることから、運動場や公園等の広場、周辺にある自然環境の中で子どもの創造力を培う「こどもの外遊び」を推進し、子どもの知育や子育てを楽しむ場を地域でつくることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区内の子どもと保護者 ■実施主体：こどもの外遊び事業実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度 	<p>委託先：ゴルフ場で遊ぶ会 ①20年7月28日川崎国際生田緑地ゴルフ場 参加者約1600人 ロープ遊び・木登り・ソリ遊び・魚とり等</p> <p>委託先：こどもの外遊び事業実行委員会 ①20年11月30日生田小学校下校庭 参加者約150人 ロープ遊び・ベーゴマ・木工・かまどで焼き物等 ②21年1月11日二ヶ領せせらぎ館 参加者約200人 凧つくり・凧揚げ・そりすべり ③21年2月22日明治大学生田校舎敷地内 参加者約200人 ロープ遊び・ベーゴマ・木工・かまどで焼き物等</p>	<p>子どもだけでなく子ども時代に外遊びをあまり経験してこなかった親世代も巻き込めたことによる新しい視点での評価もできた。こどもの遊び環境をキーワードに地域関係機関団体との連携・協力体制が深まった。</p>	予算額：500,000円 決算額：498,264円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-10 体育指導委員スキルアップ事業 【地域振興課】	介護予防と子どもの体力低下という生活課題の改善を目的に、地域で健康づくりを行う多摩区体育指導委員の健康づくり活動を支援する。 ■事業対象：体育指導委員63名 ■実施主体：区役所 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度	・参加者 多摩区体育指導委員 ・内容 レインボー健康体操(寝たきり、脳の老化を防ぎ、脳を進化させる体操)の実技研修 ・開催回数 10回(11月～3月) ・参加延人数 71人 ・委託先 幼児活動研究㈱	体育指導委員の主体的な健康づくり活動を支援し、地域での健康づくりを支えていく体制整備に役立った。	予算額：378,000円 決算額：315,000円
3-11 多摩区・3大学連携事業 【企画課】	区内に立地する3大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)の知的資源及び人材を活用し、大学と地域社会が連携して、実践的な活動を展開することで、地域社会の様々な課題の解決を図るとともに、文教都市としてふさわしい地域社会づくりを目指す。地域の課題解決に向けたモデル事業について、大学及び区役所からの提案や地域からの要望をもとに、多摩区・3大学連携協議会で協議したうえで、事業化を図り、大学へ委託する。 ■事業対象：専修大学・明治大学・日本女子大学及び区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	○「災害・防災に関する事業」実施委託(委託先：専修大学) 事業実施期間：平成21年1月～3月 モデル地区を選定し、防災マップと事業の過程をまとめた報告書を作成した。 ○「生田緑地親子自然教室業務委託」(委託先：明治大学) 市内最大の緑の宝庫である生田緑地を会場に、区内在住の小学3・4年生とその保護者20組程度を対象に、自然教室等を開催した。 8月24日(日)、11月24日(月・祝) ○「学校教育ボランティアによる学校サポート業務委託」(委託先：日本女子大学) 区内の幼稚園及び小中学校に学生を派遣し、各教科やクラブ活動の指導補助など、学校が必要とする教育活動の支援を行い、子どもたちの豊かな成長と教職を目指す学生の資質の向上を目的とする。 ○「箱根駅伝応援事業」業務委託 箱根駅伝(21年1月2日・3日)に出場する専修・明治大学を地域をあげて応援し、あわせて多摩区・3大学連携協議会及び区内3大学を内外に広くPRすることを目的に、バナーフラッグ(4種類×2枚)を作成し、JR南武線・小田急線「登戸駅」の連絡通路(ペDESTリアンデッキ)に掲示した。 ○「2008多摩区3大学コンサート」 区内3大学からそれぞれ1団体ずつ出演し、平成20年10月3日(金)に多摩市民館ホールで開催し、元気あふれるステージを繰り広げた。 来場者 約450名 ○「多摩区3大学連携協議会インターンシップ(夏季・春季)」 区内3大学から年に2回(夏休み・春休みの期間)、区役所に学生を受け入れ、8日間の日程でインターンシップを行った。 夏季インターンシップ 9月4日(木)～9月12日(金)：専修大学1名、日本女子大学2名 春季インターンシップ 2月4日(水)～2月16日(月)：専修大学2名、日本女子大学2名	地域住民と大学(学生)がともに地域課題を考えることにより、地域活動等への関心が高まり、各事業に協働・参加した区民・関係団体からも、事業の継続を求める声が出るなど、当該事業は高く評価されている。	予算額：2,123,000円 決算額：2,116,200円

IV 環境を守り自然と調和したまちづくり事業費

予算額 5,168,000円

決算額 3,339,709円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果 (時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価 (成果)	事業費
4-1 里地里山の保全活動事業・たまく森のまつり 【地域振興課】	多摩区の豊かな自然環境の維持発展と、区内の青少年に多摩区の大小様々な森と触れ合う機会を提供し、自然の豊かさや大切さを体験してもらうことを目的に、生田緑地をメイン会場とし、また、緑地保全に関わる諸団体と協働で区内各地の小さな森をサブ会場として、各種の企画を実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：たまく森のまつり実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度	開催日時 平成21年3月14日 (雨のため当日祭り中止) 実行委員会 計6回開催 (準備会、役員会各1回を含む) まつり内容 ・森の音楽祭 ・縁日コーナー ・ネイチャーゲーム (木の鼓動、樹木の名前あて、ロープワーク) ・その他 事前準備 縁日コーナー材料等の購入、ポスター印刷・配送、舞台枠工事、その他 委託先 たまく森のまつり実行委員会	平成20年度 (第19回) は、雨で祭りが中止となったが、多摩区の豊かな自然環境の維持発展と、青少年に大小様々な森と触れ合う機会を提供するとともに、自然の豊かさや大切さを体験してもらうことで、区民、子供に大変に親しまれている事業である。	予算額：2,500,000円 決算額：723,109円
4-2 まちかどアメニティ・花事業 【工事課】	道水路の余剰地を活用し、地域に根ざした植栽帯の整備を協働で行い、整備後の植栽帯の管理については、自治会等の団体主導で行っていく。 ■事業対象：菅町会管内区民及び道路利用者 ■実施主体：区役所 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	工期：平成20年8月11日から平成20年12月8日まで 内容：道水路の余剰地に植栽帯を設置することにより、地域の美観向上を図るもの。 委託先：有限会社 濃沼工業	地域の美観向上及び不法駐車、不法投棄の削減に寄与している。また、町会の植栽維持管理活動を通じて、区民協働に係る意識向上にも寄与していると考えられる。	予算額：2,668,000円 決算額：2,616,600円

VI 個性と魅力が輝くまちづくり事業費

予算額 16,244,000円

決算額 13,755,610円

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
6-1 観光振興・タウンセールス推進事業 【地域振興課】	多摩区の観光を振興するため、区内の観光・商業・文化等に関係する団体及び個人並びに市民の連携・連帯を促進するとともに、観光事業の発展及び観光客の誘致を図るためのキャンペーンを円滑及び効率的に推進し、賑わいのあるまちづくりに寄与することを目的とする。 ■事業対象：区民、近郊都市住民 ■実施主体：多摩区観光推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度	・観光キャンペーン事業(7月読売ジャイアンツファンサービスイベントでのPR、10月多摩区民祭でのPR、らくご祭りでのPR、3月多摩麻生観光まつりでのPR) ・ご当地商品・観光スポットPR事業(地域メディア広告発信、名産品コマーシャル、8月JR首都圏主要駅観光誘致ポスター掲出) ・観光ガイドダンス・ホームページ整備事業(多摩区観光ホームページ開設) ・地域観光・商業基盤整備支援事業(6月長尾の里あじさいまつり、9月菅の獅子舞、1月武州稲毛七福神めぐりなど各種イベントへの支援) 委託先：多摩区観光推進協議会	開始からまだ2年の比較的新しい組織体制であるが、一定の効果を上げることができた。賑わいのあるまちづくりを目指し、観光振興事業を推進することによる地域経済の活性化及び区の魅力づくりは、今後更に重要性が増すものと考えられる。	予算額：5,982,000円 決算額：5,465,407円
6-2 「音楽のまち・かわさき」多摩区事業 【地域振興課】	市の施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進するため音楽芸術に身近に触れる機会を提供し、併せて広く区民に多摩区の魅力や活動等をアピールすることを目的として音楽事業を開催し、さらなる地域の文化環境の向上と意識の醸成を目指す。 ■事業対象：主に区民 ■実施主体：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成16年度	①たまアトリウムコンサート ・日程 奇数月の第3水曜日及び12月24日(水) ・会場 多摩区総合庁舎1階アトリウム(計7回開催、来場者：延べ1,050人) ②夕涼みコンサート ・日程 8月3日(日) ・会場 二ヶ領せせらぎ館下河川敷(来場者：1,000人) ③子育て応援コンサート ・日程 9月21日(日) ・会場 多摩市民館ホール(来場者：713人) ④NHK公開収録 ・日程 10月7日(火) ・会場 多摩市民館ホール(来場者：713人) ⑤たまりバーサイドミュージックフェスタ ・日程 11月3日(月・祝) ・会場 二ヶ領せせらぎ館下河川敷(来場者：500人) 委託先：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会	音楽を活かしたまちづくりに貢献することができている。今後は、各イベントの目的や集客対象等を考慮しながら、最も適した運営方法や広報を行うことで、より多くの区民に関心を持ってもらうことのできる事業を展開していく。	予算額：4,150,000円 決算額：3,716,215円
6-3 駅前広場等コンサート事業 ※区民会議関係 【地域振興課】	第1期多摩区区民会議の審議結果を受け、駅前広場等を地域が主体となって、音楽や文化を発表できる場として活用することにより、多摩区のまちおこし・新しいイメージづくりや商店街、地域コミュニティの活性化につなげることを目的としている。 ■事業対象：主に区民 ■実施主体：のぼりと・ミュージック・ステーション等実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	①のぼりと・ミュージック・ステーション ・日程 7月18日(金) ・会場 登戸駅ペDESTリアンデッキ下 ・来場者 50人 ②中野島音楽祭 ・日程 7月26日(土) ・会場 新多摩川ハイム広場、南側通路等 ・中野島音楽祭実行委員会への広報を中心とした支援 委託先：のぼりと・ミュージック・ステーション等実行委員会	初めての事業であったが、一定の集客を得ることができた。今後はより地域と密着した企画づくりを行い、観客へもアンケートを実施しその結果を企画に反映させる等して、区内に広く知られ活性化につながる事業を展開していく。	予算額：496,000円 決算額：129,785円
6-4 多摩まちかど祭 【地域振興課】	区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となれるステージショーを多摩区民祭の会場において開催し、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩まちかど祭実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成3年度	多摩まちかど祭(多摩区民祭と同時) ・時期 平成20年10月18日 ・内容 区民祭の会場内に舞台を設置し、伝統芸能や一般参加者によるダンス、コーラスの披露の場となった。 ・委託先 多摩まちかど祭実行委員会	身近な舞台公演を通じて区民同士の交流が図られ、地域コミュニティの形成に役立っている。	予算額：1,500,000円 決算額：1,500,000円

事業名【担当課】	事業概要	実施結果（時期・内容・参加数等）	担当課の事業評価（成果）	事業費
6-5 多摩区イメージアップ事業 【地域振興課】	多摩区のイメージアップを図り、区民の郷土に対する愛着や連帯意識を育み、住民参加によるまちづくりを推進するため各種事業を行う。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区イメージアップ委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成8年度	・登戸駅ペDESTリアンデッキバナー事業、多摩区コミック作成事業、区の花の苗配布、団体間交流事業（通年） ・南房総のさかな料理教室、まんがコンテスト（9月） ・物産交流（10月） ・記念植樹、牛乳パック工作教室（1月） ・南房総の花料理教室（2月） 委託先：多摩区イメージアップ委員会	区民参加の各種事業を通して「多摩区イメージアップ事業」は区民に浸透してきている。各種事業は、参加者負担金の軽減や内容を充実させた成果もありアンケート結果でも好評を得ており、多数の区民が応募、参加している。	予算額：1,919,000円 決算額：1,384,229円
6-6 生田緑地エントランススポット管理運営事業 【企画課】	多摩区では、生田緑地等を主体とした観光推進に取り組んでいるところであり、その玄関口となる生田緑地エントランススポットについて、区内における大学の協力を得ながら、直営により維持補修を実施するほか、ポスター展示者からも多くの要望が寄せられている高ベンチのパネルに係る耐久性・耐水性の改善について、同大学との協働により、フィールドワークの機会を提供する形で監理を委託して実施する。 ■事業対象：主に区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	エントランススポットに設置するポスター展示用のサインパネルの研究委託を行った。 （委託先：明治大学） サインパネルの研究委託に基づき、サインパネルの製造と設置を委託した。 （委託先：株式会社 アクト）	サインパネルを新規に設置したことによって、生田緑地関係のポスターが見やすくなり、観光資源の有効活用につながった。	予算額：966,000円 決算額：347,865円
6-7 ミニ水族館の維持管理 【地域振興課】	多摩区役所を安らぎと潤いのある環境にし、郷土の多摩川をより身近に感じてもらうため、多摩区総合庁舎1階アトリウムに設置した水槽で多摩川に生息する魚類を飼育しミニ水族館として来庁する区民向けに展示する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度	多摩川に生息する生き物を飼育する水槽を2基設置し、年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供した。 委託先：総合ペット中里フィッシュセンター	親子連れが水槽を覗いている姿がよく見られ、区民が多摩区の自然への理解を深め、行政施設を身近に感じられるきっかけとなっていると思われる。	予算額：945,000円 決算額：945,000円
6-8 水辺の愛護活動事業 【地域振興課】	憩える緑豊かな水辺づくりの観点から市内河川の6割を超える水郷という地域特性を守り育み、区民の環境愛護活動を推進するため、町内会や商店街、子ども会、市民団体、学校、事業者で流水の支障となるゴミの回収、堀の草刈、自転車の整理などの愛護活動を協働で実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	○二ヶ領用水をきれいに 水辺の愛護活動 ・実施時期 平成20年9月28日 ・実施場所 二ヶ領用水宿河原線（堰～取入口／2.2Kmのうち東名高速道路高架下から船島橋） ・参加人数 約300人（18団体） ・実施内容 流水の支障となるゴミの回収等の環境愛護活動 （消耗品：草刈鎌 高枝切 長靴 皮手袋 備品：エンジン刈払機）	二ヶ領用水は、他都市からも多くの人が訪れる歴史的な環境資源である。地域における特性としての二ヶ領用水を守り育む活動は、市民、区民、地域住民にとっても重要である。	予算額：286,000円 決算額：267,109円

Ⅶ 参加と協働による市民自治のまちづくり事業費

予算額 11,874,000円

決算額 8,899,652円

事業名【担当課】	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
7-1 地域コミュニティの活性化促進事業 【地域振興課】	町内会・自治会の抱える未加入世帯の増加という課題解決に役立てるため町内会活動の実例を紹介する宣伝広告記事を地域メディアに掲載し、町内会・自治会の存在意義、参加魅力をアピールして未加入世帯の町内会・自治会の加入促進につなげ、町内会・自治会活動の活性化と自治意識の高揚を図る。 ■事業対象：町内会・自治会未加入の多摩区民 ■実施主体：多摩区町内会連合会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	・町内会加入促進ポスターの作成・掲出 ・地域メディア連載キャンペーン (マイタウン21 135,000部 各戸配布) 1回 ・町内会加入のぼり旗の作成・掲出 ・町内会区域図の作成(デザイン 編集) 委託先 多摩区町内会連合会	地域課題の解決や新たな公共サービスの担い手として、町内会・自治会などの地縁型住民組織のさらなる充実が必要とされており、引き続き、町内会・自治会組織の機能強化のため協働推進事業として事業を進めることが適切である。	予算額：1,855,000円 決算額：1,835,215円
7-2 磨けば光る多摩事業 【企画課】	区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、区民が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営(活動提案の募集・審査)、一部委託(提案事業の実施)、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	①めだかの地域大学(委託先：NPO法人 秋桜舎)：地域住民に対して、保健・医療・福祉などの情報の提供や、住民が日ごろから練習していることの発表など、合計9回の講演や演奏会を行った。 ②区民と議員のフロアミーティング(委託先：多摩区選出議員と市政を語る会実行委員会)：多摩区民の市政への関心を高めるため、市議会傍聴や多摩区選出議員とのフロアミーティングを行った。 ③新たなネットワークによる妊婦体験・赤ちゃんとのふれあい体験普及事業(委託先：NPO法人 ままとんきっず)：区内の中学校において、妊婦体験を行う。学校ごとに、地域の協力者を確保し、事業定着への仕組みづくりについて、学校を含めた協議を重ねながら、6ヶ所の中学校で実施した。 ④新生・川崎市誕生70周年記念「蘇れ!宿河原桃、『桃の里・宿河原』伝承事業」(委託先：宿河原堤桜保存会)：「宿河原桃」と桃の里であった「宿河原」をテーマに、二ヶ領用水沿いの写真などを展示し、水と緑に恵まれた郷土・多摩区をアピールする「宿河原桃展」を開催した。 「桃の里・宿河原」展示会： 期間(3月23日(月)～31日(火))	支払い方法の変更(概算払いを認める)や人件費・旅費を委託料の対象経費として認めるなど、制度の改正を行った結果、提案事業数が19年度の4件から7件に増加した。	予算額：2,206,000円 決算額：1,682,861円
7-3 まちづくり推進事業 【地域振興課】	多摩区民の自主的活動組織である多摩区まちづくり協議会(以下「協議会」という。)が、市民活動団体では担えない中間支援的かつ公共的な役割を実現するとともに、区民と連携を図りながら区内のまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を川崎市と協働して行う。活動内容は、次に掲げるとおりとする。 ・まちづくりに関する活動の情報を交換する場づくり ・まちづくりに関する活動を支える活動拠点の整備 ・まちづくりに関する活動を支える情報の調査、収集及びこれらから得られた情報の区民等への提供 ・まちづくりに関する意見、川崎市から提示されたまちづくりに関する課題等の協議及び検討 ・まちづくりに関する課題を解決するための企画及び区民等との協働によるその実践 ■事業対象：多摩区まちづくり協議会委員及び区民 ■実施主体：多摩区まちづくり協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成12年度	川崎再生フロンティアプラン第2期実行計画から行政側の課題を整理・把握した後、平成20年9月に多摩区で活動する市民団体との意見交換会である「たまサロン」を開催し、28団体と取り組むべき多摩区の課題について意見を出し合った。この意見をもとに協議会内で検討を重ね、多摩区の課題を解決するための企画である6つのプロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトに賛同する一般区民の参加を募ったうえで、プロジェクト活動に着手したところである。また、広報紙を発行し、行政施設だけでなく民間施設にも配架し、協議会の活動を中心に、市民団体の情報も発信しているところである。 委託先：多摩区まちづくり協議会	市民活動を行う区民の横のつながりをつくる中間支援的な役割として行っている意見交換会(たまサロン)をきっかけとした市民団体同士のつながりができつつある。また、幅広い区民の意見を取り入れた結果として企画された6つのプロジェクトについても、中間支援的な役割を重視した内容となっており、公共的な役割を担う組織としての活動の基盤をつくることができた。	予算額：4,100,000円 決算額：3,258,206円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
7-4 市民活動支援コーナー運営事業 【地域振興課】	地域課題解決に向けた市民活動団体による活動が活発に行われる中、多摩区内で非営利の社会的貢献活動をしている区民団体や個人の活動を側面から支援することを目的として、印刷や資料づくり等に必要な備品等を備えた「多摩区民活動支援コーナー」を多摩区総合庁舎に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。 ■事業対象：区内で活動する区民活動団体 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業、緊急対応事業 ■開始時期：平成13年度	【当初予定事業】 多摩市民館2階の印刷室、グループ室及び多摩区役所6階の菓子センター小会議室を「多摩区民活動支援コーナー」として、利用登録を行った団体及び個人に対し利用開放した。 【緊急対応事業】 また、第1期区民会議の審議結果を受け、多摩区民活動支援コーナーを拡充するために「多摩区市民活動支援拠点整備等庁内検討会議」において検討を行い、スペースの拡充、情報コーナーの設置等の整備を行った。	行政による市民活動の支援としては一定の効果を出してきたところである。今後は、より市民活動が盛り上がる支援方法を検討し、区民と役割分担をしながら行政としての支援を図っていく必要がある。	【当初予定事業】 予算額：1,268,000円 決算額：1,026,970円 【緊急対応事業】 予算額：502,050円 決算額：501,270円
7-5 区民活動情報ひろば事業 ※区民会議関係 【企画課】	地域の中で豊かな生活が営めるように、地域情報を区民が提供(交流)しあうことができる仕組みを構築するため、多摩区内の市民活動団体を一覧できるマップ(地図)をパンフレットとして作成し広く区民に提供する。本事業は、第1期多摩区区民会議の調査審議結果を受けて取り組むものである。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業、緊急対応事業 ■開始時期：平成20年度	市政日より多摩区版と区役所ホームページにて、編集委員を公募し、11月に区民による編集組織を設置した。1月に、市政日より多摩区版と区役所ホームページ、ポスター掲示等でパンフレットに掲載を希望する市民活動団体を募集したが、応募数は少なかった。その結果、より充実した内容のパンフレットを作成するため、平成21年度も継続して掲載希望団体を募集することになった。	掲載希望団体が少なかったことから、団体の掘り起こしの検討を行った。その結果、中間支援組織を活用した募集を行うことにより当初目的を達成すべく事業を平成21年度に実施する。	予算額：452,000円 決算額：0円
7-6 窓口サービス改善推進事業 【区民課】 【保険年金課】	平成16年にISO9001を認証取得後、市民の求める質の高いサービスを、継続的に維持する必要があるため、そのために要する窓口環境整備費用として、区民課・保険年金課の窓口において実施。 更に、今後は多摩区役所全体の窓口環境の改善に向け事業を展開し、区を挙げての窓口サービスの向上に資する。 ■事業対象：来庁市民 ■実施主体：区役所 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度	窓口の発券機を維持管理するための消耗品の購入や修繕の費用。多摩区役所窓口サービス改善検討会議事務局として、紙の購入。多目的テーブルの購入。	本事業を開始して以来、3年間のISO認証取得の維持等、対外的な評価においても成果が出た。 また、発券機稼働による混雑緩和や案内表示版の設置など、実行計画における「利便性の高い快適な窓口サービスの提供」という施策課題に対して着実に成果をあげている。 今後とも質の高い市民サービスを維持していくために、更に重要度が増していくと考える。	予算額：497,950円 決算額：325,280円
7-7 多摩区役所ホームページ更新事業 【企画課】	区役所組織の変更や各課の事務事業内容の変更、新規事業等の追加など、最新情報を網羅し、また区の魅力発信によるイメージアップや利用者の使いやすさの向上を図るため、ホームページを更新する。 ■事業対象：ホームページを閲覧する市民、ホームページ更新に携わる職員 ■実施主体：区役所 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	○「多摩区子育てWEB」(委託先：NPO法人「ままとんきっず」) 妊娠・出産～子育て期の親子を対象に、子育て全般に関し、様々な行政・医療・地域情報等を体系的にホームページで情報提供を行った。 ○必要に応じて職員がホームページの更新を行った。 ○他の所属に対して、ホームページ作成の技術支援を行った。	区民がホームページから、行政情報を入手する機会が多いのは、電話での問合せや各事業でのアンケートなどからも伺える。今後、その重要性はますます高まるものと思われる。ゆえに、ホームページのさらなる内容の充実が求められている。	予算額：993,000円 決算額：269,850円

VIII その他経費 共通事務経費	予算額	608,000円	決算額	388,485円
緊急対策事業費	予算額	1,764,000円	決算額	520,800円

(◎は新規事業、○は拡充事業)

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果 (時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価 (成果)	事業費
共通事務経費	協働推進事業の共通事務経費	○協働推進事業で共通に必要な物品 (印刷機インク等) を購入した。		予算額: 608,000円 決算額: 388,485円
緊急対策事業費	緊急の事態に対処するための予備費	○AED 2台購入		予算額: 1,764,000円 決算額: 520,800円

I 安全で快適に暮らすまちづくり事業費	予算額	4,139,000円	決算額	2,836,575円
II 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり事業費	予算額	840,000円	決算額	694,753円
III 人を育て心を育むまちづくり事業費	予算額	14,363,000円	決算額	14,015,938円
IV 環境を守り自然と調和したまちづくり事業費	予算額	5,168,000円	決算額	3,339,709円
VI 個性と魅力が輝くまちづくり事業費	予算額	16,244,000円	決算額	13,755,610円
VII 参加と協働による市民自治のまちづくり事業費	予算額	11,874,000円	決算額	8,899,652円
VIII その他経費 共通事務経費	予算額	608,000円	決算額	388,485円
緊急対策事業費	予算額	1,764,000円	決算額	520,800円
合計	(予算額)	55,000,000円	(決算額)	44,451,522円